

上手に作ればずっと使える

匠の箸

IN びわこ地球市民の森

活動日時： 11月13日（日）

活動プログラム：

午前	集合・あいさつ	おはようございます！今月は久々に工作を行うよ。枝を削って、本格的に箸作りを行うよ。世界に一つだけの箸を作って、家でご飯を食べよう。どんな箸ができるかな？
	枝探し	箸を作るために一番肝心な枝探しを行うよ。落ちている枝を選ぶのだけど、腐っていたり、水を含んでいる枝はダメだし、細すぎたり、太すぎると、それも箸として使い物にならないし、なかなか適当な枝が見つからないね。よく探してみると、いい感じの枝があるよ。しかも長いからのこぎりで切り分けて、みんなでその枝をシェアしよう。後は汚れを落として、しっかり乾かして、これを削っていくよ。
	昼食	天気も良くて、最高の秋日和だね。暖かい中にご飯を食べるととても気持ちがいいね。食べ終わったら箸作りを行おう。さあ、ここからが正念場。頑張って使いやすい「マイ箸」を作るよ。
午後	箸作成	箸作りには幾つかの行程があるから焦らずに進めていこう。まずは枝を削っていくよ。「小刀」を使って削っていくから、意識し注意して、ケガをしないように削っていこう。初めはなかなか削りにくいけど、慣れてくるとスムーズに削れていこう。削りすぎには注意してね。 削れたら箸を磨いていくよ。持ちやすい形にしていくよ。そして、最後は“蜜蝋”を縫ってコーティングしよう。独特な匂いがしていい感じだね。
	振り返り まったねえ	みんなが作った箸はどれも素敵な箸だね。何より大きな怪我がなかったことが一番だね。個人作業の時間が長かったけど、それでも周りを意識しながら進めていったね。一人で作業をしてもみんなと一緒にいることを思って活動をしているとやっぱり楽しいね。



<全体感想>

午前は集団行動、午後は個人作業と内容がハッキリと分かれる活動を展開しました。普段は「みんなで」を意識して活動を行っています。自分のペースで進めず、みんなに合わせないといけないので、それが原因で活動中にトラブルがよく起こっています。今月の箸作りは、ご自身のペースで進めるので、誰もが自分の世界観に入り込み、制作されていました。しかし、作業中に周りの友達の様子が気になられ、結果的に合わせて作業を進めておられる姿がありました。これは活動に参加しに来られる方は一人で遊ぶのではなく、誰かと一緒に楽しみたい願望があるからだと考えています。その想いをしっかりと汲み取り、『集団と個人』のバランスを大事にしていきます。

(竹中 哲郎)